

通 教 月 報

診 療 情 報 管 理 研 究

平成22年9月号

編 集 武田 隆久
発 行 人 〒102-8414 東京都千代田区一番町13-3
社団法人 日本病院会 通信教育課
TEL 03-5215-6647 (受講生専用)
FAX 03-5215-6648 (受講生専用)
URL <http://www.jha-e.com/>
受付時間 9:00~17:00
(ただし、土・日・祝祭日、年末年始は除く)
発 行 日 毎月1日
定 価 1部 150円 1カ年1,600円(送料共)
郵便振替 00190-5-396045
名 義 社団法人 日本病院会 通信教育部

「第36回日本診療情報管理学会学術大会」のご案内

夏川 周介

JA 長野厚生連 佐久総合病院 統括院長
第36回日本診療情報管理学会 学術大会長

今月16日、17日に長野市において開催される第36回日本診療情報管理学会学術大会まで残すところわずとなりました。年々発展を遂げている本学会ですが、今回は応募演題230題(一般演題120題、ポスター110題)と過去最高の応募を頂いております。会員の皆様にも深く感謝申し上げますとともに、大勢の方々の学会参加を心よりお待ちしております。

さて、今回のメインテーマは「医療変革期における診療情報管理」といたしました。国の医療政策はDPCの導入・拡大に示されるように、一貫して平均在院日数の短縮・機能分化の推進、医療費の適正化にあります。さらに情報開示・医療情報の透明化など医療環境の変化は急速であり、診療情報管理の重要性は増すばかりです。

このような状況を踏まえ、今回は、特別講演・教育講演・シンポジウムを診療情報管理関連に絞り、メイン会場で続けて行うこととしました。

特別講演Ⅰは「医療制度の今後の展望と診療情報管理士の将来像」(国際医療福祉大学大学院の高橋泰先生)。特別講演Ⅱは「見える化の時代—医療の質そして健康格差」(日本福祉大学大学院の近藤克則先生)。教育講演Ⅰは「院内がん登録全国集計から見てくるもの—診療情報管理士の役割—」(国立がん研究センターの西本寛先生)。教育講演Ⅱは「診療記録としてのクリニカルパス」(福井総合病院の勝尾信一先生)としました。いずれも第一線で活躍されている講師の方ばかりで、益するところは多いものと確信しております。

シンポジウムⅠは「拡大する診療情報管理士の役割」、シンポジウムⅡに「DPCコーディングの精度をあげるには」と題して開催いたします。その他にも、一般演題に関しては、様々なテーマに応募を頂きました。いずれも日々の業務に役立つ優れた演題ばかりです。タイトなスケジュールではありますが、活発な議論も含め、大いに勉強していただければ幸いです。

長野市には有名な善光寺、川中島の合戦場や松代の城下町など観光名所には事欠きません。郷土料理とともに堪能していただければ幸いです。

今回の大会準備・運営には長野県診療情報管理懇話会のメンバーにも大変協力をいただいております。是非とも実りある大会となりますようご指導、ご協力をお願いいたします。